

古代鏡展示館 秋季企画展

# 象嵌

象（かたど）る

嵌（は）める

令和3年

9月18日（土）

令和4年

3月13日（日）



兵庫県立考古博物館 加西分館

古代鏡展示館  
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

主催：兵庫県立考古博物館加西分館  
後援：兵庫県・兵庫県教育委員会



# 象嵌

かたど は  
象る / 嵌める



象嵌は、一つの素材に異質の素材をはめ込む技法です。金属の場合、金属のくぼみに金、銀、純銅などの金属や色のある石などをはめ、地金との色の違いにより紋様を表し装飾します。この技法は、中国では金属器文化が萌芽する二里頭文化期（約3700年前）からみられますが、春秋時代以降盛行し、漢代に繋がっていきます。

本展では、金銀などの金属や貴石をはめこんだ銅鏡や装身具などの作品の中から、漢代以前の象嵌作品を展示し、古代金属工芸の美と技を紹介します。

- ①金銀緑松石象嵌帯鉤 ②白玉象嵌獣紋刀子 ③金象嵌杖頭 (いずれも戦国時代/①②本館蔵 ③個人蔵)



## 展覧会 関連行事

### 講演会①

令和3年  
12月4日(土)

「象嵌の美と技」

要予約 予約/11月6日(出)~

### 講演会②

令和4年  
2月26日(土)

「百花繚乱 — 陶酔と貴顕の鏡 —」

要予約 予約/令和4年1月29日(出)~

両日とも

講師/種定淳介(当館学芸員)

時間/13:30~15:00 会場/古代鏡展示館2階  
定員/先着20名 対象/中学生以上

## スポット展示

えととら  
「干支寅」

令和4年1月2日(日)~3月13日(日)

毎年恒例の干支の鏡展  
令和4年(2022)年は寅年で  
所蔵品の中から「寅・虎」が描か  
れた鏡を紹介します

## 期間中に開催する講座・イベント

要観覧券 予約不要

### ●イベント「クイズに正解して、古代鏡缶バッジをつくらうよ!」

展示されている古代鏡を見ながらクイズにチャレンジ! 全問正解して、古代鏡展示館オリジナル缶バッジをつくれます

令和4年

1月2日(日)~4日(火) 9:30~15:30 1月の日曜日(9日、16日、23日、30日) 13:30~15:00

2月の日曜日(6日、13日、20日、27日) 13:30~15:00

会場/古代鏡展示館 エントランスホールおよび展示室

## 観覧時間

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

※フラワーセンター入園は午後4時まで

## 休館日

水曜日(2月23日は開館)、12月20日~1月1日、2月24日  
ただし10月20日(水)~11月17日(水)は無休

## 観覧料

一般100円/高校生以下無料

※障害者手帳(ミライロID)提示で本人20円、介助者1名無料  
※別途、フラワーセンター入園料(一般500円など)が必要

## アクセス

詳しくは当館ホームページをご覧ください

| 車 | 中国自動車道「加西IC」から南へ3km

| 電車 | 北条鉄道「北条町」駅下車  
(北条町駅からタクシーまたはバスを利用。約15分)

| バス | 姫路駅(北口)から北条行きに乗車、  
「アスティアかさい」で下車(約60分)、  
タクシーまたはバスを利用  
※土日祝は姫路駅からフラワーセンター行きのバス運行



兵庫県立考古博物館 加西分館  
古代鏡展示館  
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

〒679-0106 兵庫県加西市豊倉町飯森1282-1  
(兵庫県立フラワーセンター内)  
TEL0790-47-2212 FAX0790-47-2213  
https://www.hyogo-koukohaku.jp/kodaikyou/